

製品名: EIF2S1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87702**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.1mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:36 kDa; Observed MW:36 kDa

抗原情報

遺伝子名	EIF2S1
別名	EIF2; EIF-2; EIF2A; EIF-2A; EIF-2alpha
遺伝子 ID	1965, 13665, 54318
SwissProt ID	P05198, Q6ZWX6, P68101
免疫原	ヒト EIF2S1 の合成ペプチド

背景

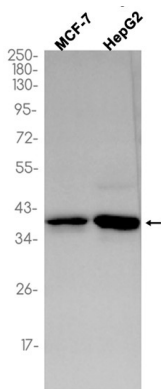
翻訳開始因子 EIF2 は、タンパク質合成開始の最初の制御段階を触媒し、開始 tRNA の 40S リボソームサブユニットへの結合を促進し

ます。結合は、メチオニル tRNA、EIF2、および GTP の三元複合体として起こります。EIF2 は、36kD の EIF2- α サブユニット (EIF2S1)、38kD の EIF2- β サブユニット (EIF2S2; MIM 603908)、および 52kD の EIF2- γ サブユニット (EIF2S3; MIM 300161) という 3 つの非相同サブユニットで構成されています。三元複合体の形成速度は、EIF2- α のリン酸化状態によって調節される (Ernst et al., 1987 [PubMed 2948954])。[OMIM 提供、2010 年 2 月]

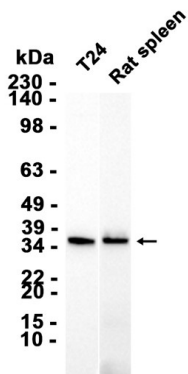
研究分野

-

画像データ



EIF2S1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、MCF-7、HepG2 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。



AMRe87702 を 1:1000 で使用して、T24 細胞およびラットの脾臓組織からの抽出物をウエスタンブロット分析しました。